

人間関係の統一性と全体性

ウィリアム・バーンズ

(要 旨)

バハオラの使命は「世界諸国全体の有機的、かつ精神的な統一」をもたらすことにある。このプロセスは必ず多くの社会的変化を引き起こすであろう。

有機的変化の一部は、ショーギ・エフェンディ (Shoghi Effendi) が人間関係の統一性と全体性と呼んだものを確立することである。彼の主張によれば、もし世界団結の目標が達成できるものであるならば、人類は人間関係の統一性と全体性を認めこの根本的な生命の原理を実現しなければならない。日本のバハイ信徒にとって、これらの関係を確立することは特に重要である。1986年に日本に伝えられたレズワンのメッセージには、日本のバハイ信徒は“最前線に立って人間関係の統一性と全体性への準備活動を行い、それによって平和への条件を作り出さなければならない”と述べられている。

バハイの諸文献は日本を特に名指して、世界的規模の社会変化におけるリーダーになることを求めている。しかし、そうなるためには日本が変わらなくてはならない。日本のバハイ共同体は、日本の社会的変化の中で非常に重要な役割を果たすことができる。バハイの理想は、日本のバハイ共同体を活気づけ、フィースト、LSA ミーティング、委員会や教育プロジェクト等の活動を文化の違いを乗り越えてダイナミックに実施してきたことによって培われた信徒達の現実的な経験をも活気づけているが、このことが、この分野における他の多数の団体には見られない卓越した利点をもたらしている。第一部では、人間関係の統一性と全体性の機能がどのような姿をしており、また、どのように作用しているかを述べている。第二部では、日本人バハイ信徒達が、伝統的な日本人の関係を人間関係の統一性と全体性へと変え始めるためには実際的な方法として何ができるかを提案している。

人間関係の統一性と全体性を創造していくということは、人間が既存の社会構造をいささかでも修正することを意味しない。それが意味することは、単に、新しい種類の全体的社会関係を創造してだけであり、それは、真に有機的で普遍的な社会生活の構造を具体化する質的な変化である。それは、新しい形の共同体であり、真の市民社会の再生であるとともに再構築である。このような社会が組織化された人間の生活全体に革命的变化をもたらすのである。